秋の叙勲・高齢者叙勲　受章おめでとうございます

㊐総務課秘書係　☎22-1333

平成22年「秋の叙勲」受章者が発表され、本市からは、通産行政事務、消防の分野で長年の功労が認められた次の方々が受章の栄に浴されました。また、11月１日付けで「高齢者叙勲」として、教育功労により遠藤清一様が受章されました。受章されました方々の栄誉をたたえ、市民の皆さまとともに喜びを分かち合いたいと思います。

秋の叙勲 瑞宝双光章

矢内（やない）　淳（じゅん）　様（70歳）

【通産行政事務功労】（福岡長袋）

昭和39年４月に仙台通商産業局に勤務されて以来、34年の永きにわたり奉職されました。この間、本省や中小企業庁に出向。また、東北通商産業局企画課長・商工課長・商工部次長などの要職を務められ、産業の発展や地域の活性化のためご尽力されました。

秋の叙勲 瑞宝単光章

齋藤（さいとう）　和男（かずお）　様（71歳）

【消防功労】（小原）

昭和34年４月に白石市消防団員を拝命以来、43年の永きにわたり消防団員としてご活躍なされました。この間、分団長、副団長、団長などの要職を歴任され、団員の育成に努めるとともに、市民の生命、財産の保全のためご尽力されました。

高齢者叙勲 瑞宝双光章

遠藤（えんどう）　清一（せいいち）　様（88歳）

【教育功労】（東町）

昭和15年８月に刈田郡大鷹沢小学校に勤務されて以来、43年の永きにわたり奉職されました。この間、白石市立白川小学校教頭、刈田郡蔵王町立円田小学校長などの要職を歴任し、学校教育の充実発展と児童・生徒の健全育成のためご尽力されました。

毎月第３日曜日は「家庭の日」。家族みんなで過ごしましょう！　今月は1月16日。

料理を通して外国を身近に感じる 国際料理講習会

11月15日、県内外国人との交流を目的とした「国際料理講習会」が中央公民館で行われました。

この講習会は、料理を通して外国の文化に触れることで、より身近にほかの国を感じてほしいと、ボランティアやまぶき会（佐藤元子（さとうもとこ）会長）と白石市国際交流協会（髙橋昌（たかはしまさり）会長）が共催しました。

今年は24人が参加し、昨年に続き韓国出身の石恵善（そくへそん）さんを講師に招き、タクトリタン（鶏肉の辛味煮）やオジンオムッチム（いかの和え物）などの韓国料理と、日本のまぜご飯などを作りました。韓国と日本の料理がテーブルに並び、自分たちで作った料理を食べながら、交流を深めていました。

▲楽しく料理と文化を学びました

冬道の強い味方！ 除雪トラックを寄付

11月19日、株式会社菱全（りょうぜん）（名取市）から本市に除雪トラックが寄付されました。城下広場で行われた受納式には、中里二郎（なかさとじろう）社長と風間市長など約10人が出席。「私自身、白石に縁があり、豪雪地帯である白石で市民の皆さんの安全確保に役立ててほしい」と中里社長が寄付への思いを話しました。

除雪トラックは、全長11㍍、全幅2.9㍍。製造後20年が経過していますが、まだまだ現役。これから冬の時季、幹線道路などでの活躍が期待されます。

※本市では、３月31日まで、積雪量がおおむね10㌢を超えた時に、幹線道路と主要な道路を中心に、除雪・融雪作業を実施します。

▲冬の時季の活躍が期待されます

甲冑が縁で地域とつながる 角田支援学校の生徒が甲冑堂物語の寸劇を披露

12月２日、角田支援学校白石校の中学部の生徒７人が市役所を訪れ、ロビーで甲冑（かっちゅう）堂物語の寸劇を披露しました。

今回の寸劇は、同中学部が文化祭で演劇をする際に市から甲冑を借り受けたことから、そのお礼として披露。生徒たちは、源義経（みなもとよしつね）の家臣であった佐藤継信（さとうつぐのぶ）・忠信（ただのぶ）兄弟の戦死を悲しむ母に、彼らの妻たちが、亡夫の甲冑を付けて慰めたシーンを一生懸命に演じました。

同校の先生は、「生徒がこの学習を通じて自分たちの住む白石を知り、白石市民として多くの皆さんと出会うことで、まちの皆さんとつながっていることを感じてもらいたい」と話してくれました。

▲甲冑堂物語の寸劇を披露

お知らせします

紙上からお礼申し上げます

生活基盤の整備や福祉事業などのため、次の方々からご寄付をいただきました。紙上からお礼申し上げます（敬称略）。

白石市建設職組合 青年部長 中島裕文、113カラオケ会 会長 石塚佳一郎

選挙啓発用ポスターを展示します

明るい選挙を推進するため、毎年市内の小中学校を通して選挙啓発用ポスターを募集しています。

平成22年度は47作品を応募いただき、東中学校２年の日下碧（くさかみどり）さんの作品が全国のコンクールで、明るい選挙推進協会会長・都道府県選挙管理委員会連合会会長賞を受賞されました。

本年度応募いただいた作品を、市庁舎に展示しますので、ぜひご覧ください。

●期間　１月17日（月）～28日（金）
●場所　市役所１階ロビー
㊐選挙管理委員会事務局　☎22-1315

歩行型除雪機による事故を防ぎましょう

除雪機を使う際は、使用者の責任において、正しく、安全に作業しましょう。

①人がいる時は使わない！
除雪作業中は、まわりに人を近づけないでください。

②雪かき棒を使って！
雪詰まりを取り除く時は、エンジンを停止し必ず雪かき棒を使ってください。

③エンジンを掛けたまま離れない！
作業の時以外は、必ずエンジンを停止してください。

④後方注意！
後退する時は、足もとや後方の障害物に気を付けてください。

●ホームページＵＲＬ
http://www.jfmma.or.jp
㊐（社）日本農業機械工業会
☎03-3433-0415

消防テレホンサービスご利用上の注意

消防では、災害時の情報案内として「消防テレホンサービス」を実施していますが、ひかり回線の電話や一部のＩＰ電話、ＰＨＳ、プリペイド式携帯電話などからは、ご利用することができませんのでご注意ください。

また、119番で災害などの問い合わせをされる方がいますが、119番は緊急時の番号ですので、消防テレホンサービスをご利用ください。

消防テレホンサービス
☎0180-992-123
㊐仙南消防本部　☎0224-52-1050

国籍に関する事務は仙台法務局へ

これまで仙台法務局大河原支局において取り扱っていた帰化、国籍取得などの国籍に関する事務は、１月から仙台法務局民事行政部戸籍課において取り扱うことになりましたのでお知らせします。

㊐仙台法務局民事行政部戸籍課
☎022-292-3351

1月から「世帯全員の住民票」の様式が変わります

これまでは、世帯全員の住民票を発行する場合、「1人１枚の住民票」を世帯の人数分（４人世帯の場合は４枚）発行していましたが、１月から「世帯全員の住民票」の様式が変わり、１枚に４人まで記載した住民票を発行できるようになりました。

なお、「１人１枚の住民票」は、これまで通りの様式で発行します。詳しくはお問い合わせください。

㊐市民課　☎22-1312

住　民　票

宮城県白石市

世帯主　番地

住　所　白石市○○○　○番地○

	氏名	続柄	生年月日	続柄
1	○○ ○○	○	昭和○○年○○月○○日	番地
	○○ ○○ ○○			
	住民となった日 平成○○年○○月○○日 住定年月日 平成○○年○○月○○日 平成○○年○○月○○日届出 事由 転居			
	本籍 番地		筆頭者	番地
	前住所 ○○○○○○○　○番地○			
	備考			
2	○○ ○○ ○○	○	昭和○○年○○月○○日	番地
	○○ ○○ ○○			
	住民となった日 平成○○年○○月○○日 住定年月日 平成○○年○○月○○日 平成○○年○○月○○日届出 事由 転居			
	本籍 番地		筆頭者	番地
	前住所 ○○○○○○○　○番地○			
	備考			
3				
	住民となった日 住定年月日 事由			
	本籍 番地		筆頭者	番地
	前住所			
	備考			
4	【ローマ字表記】			
	住民となった日 住定年月日 事由			
	本籍 番地		筆頭者	番地
	前住所			
	備考			

この写しは、世帯全員の住民票の原本と相違ないことを証明する。
平成○○年○○月○○日
宮城県白石市長　風　間　康　静

「ほのぼの川柳コンクール」の入選作品が決定しました！

11月11日、男女共同参画社会づくりに関する「ほのぼの川柳コンクール」の表彰式を市役所で行いました。今回のテーマは「子育て」・「職場」または「学校」で、5回目を迎えた今回は、223句の応募作品より厳正な審査の結果、10名の作品が入選しました。

そして、入選作品の中から遠藤（えんどう）優花（ゆうか）さんが市長賞を受賞しました。

入選作品を含む応募作品を、１月23日（日）まで、ふれあいプラザ２階ホールに展示しています。ぜひご覧ください。

●市長賞作品（敬称略）
『パパ休みそのときママは夏休み』
遠藤　優花

●入選作品（敬称略）
『老いてなお二人で夢を追いかける』
髙橋きよ子
『向かいあい話してみようあなたから』
日下　日記
『食欲をそそる笑顔が風味付け』
朝倉　康大
『お父さんたんしんふにんでぼくが父』
大沼　蓮
『ママ仕事パパ育休で支え合い』
菊川いつ子
『お料理も掃除もパパも子も一緒』
大野　修一
『あいさつは心かよわす橋渡し』
菅原　史裕
『子育てが花の時だと振り返る』
深谷　実
『子は宝ですと言い切るパパとママ』
鈴木　誤差

▲風間市長と入選された皆さん
（後列右端は選者の四竈英夫さん）